

環境経営レポート

【令和5年度】

2023年4月～2024年3月



株式会社 研 進 産 業

2024年4月16日発行

目 次

1. 組織の概要・対象範囲
2. 環境経営方針
3. 環境経営システムと実施体制図
4. 環境目標とその実績
5. 環境活動計画
6. 環境活動計画の内容・取り組みの結果の評価と今後の取り組み
7. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容
8. 環境関係法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、
提訴等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果



1. 組織の概要・対象範囲

組織の概要と認証・登録範囲

- 1) 事業者名及び代表者名
株式会社 研進産業
代表取締役 高木 英範
- 2) 所在地
本社 〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚6-6-59
- 3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）
環境管理責任者 工事部 係長 森 一也
TEL : 090-5920-8076
Fax : 092-623-2090
Email : daihyou@kenshin.co.jp
- 4) 事業活動の内容
福岡県知事許可（特-1）第9115号
土木工事業、塗装工事業、防水工事業
福岡県知事許可（般-1）第9115号
建築工事業、とび・土工工事業、管工事業、
舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

下水道管路施設維持管理、土木用資材販売

産業廃棄物収集運搬業 許可番号04000017712
- 5) 事業の規模
売上高 612.78 百万円／年 (R5年度)
工事件数 16 件／年 (R5年度)
全従業員 18 名 (R5年度)

	本社		
事務所床面積: m ²	186		
倉庫床面積: m ²	151		
従業員 名	18		

- 6) 事業年度
2023年4月～2024年3月

認証・登録の対象範囲

- 1) 事業活動
土木工事、建築工事、とび・土工工事
管工事、舗装工事、しゅんせつ工事、水道施設工事
塗装工事業、防水工事業
下水道管路施設維持管理、土木用資材販売
- 2) 対象事業所
全組織（本社、倉庫）

2. 環 境 経 営 方 針

環境理念

当社は、もっと環境にやさしく、もっと暮らしを快適に、常に視野を広げ、安全で美しい都市づくりを考えるコンセプト・キーワードのもとに、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

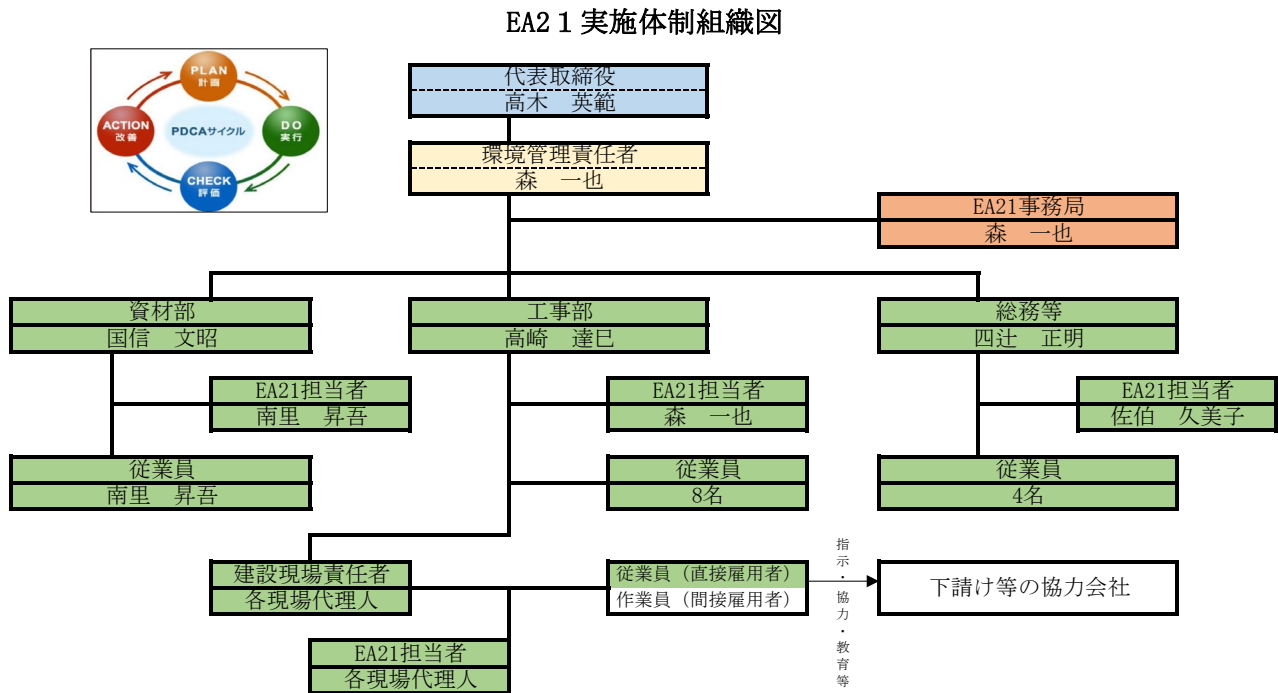
当社は、福岡県福岡市を中心とした土木工事・下水道清掃・土木資材販売の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 事務所での電気使用量及び現場での重機車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場からの廃棄物に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物の排出を抑制します。
 - ☆ 建設現場からの排出する水による汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 施工で使用する建材の化学物質を適正管理します。
 - ☆ 発注者に対し環境に配慮した工法・製品を提案し省エネに配慮した施工に努めます。
 - ☆ 再生材の使用の拡大を推進します。
 - ☆ 地域貢献を推進します。
 - ☆ 全従業員がこの活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員及び協力会社に対し周知徹底し、社外にも公開します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、環境活動を推進し、環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日 2016年8月22日
改訂日 2021年6月 1日
株式会社 研 進 産 業
代表取締役 高木 英範

3. 環境経営システムと実施体制図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境方針の下、環境目標の達成に向けて、環境活動計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	・代表者として環境経営全般に責任と権限を持つ。
	・経営における課題とチャンスを確認にする。
	・環境方針を作成・見直し、従業員に周知する
	・環境管理責任者EA2 1 事務局員を任命する。
	・環境への取り組みを実施するための資源（人・物・金）を準備する。
	・EA2 1 全体の取り組み状況に関し評価、見直しを実施する。
環境管理責任者	・EA2 1 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。
	・毎年環境目標、環境活動計画を作成する。
	・3か月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認・評価する。
	・上記の結果を代表者に報告する。
EA2 1 事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA2 1 文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。
	・社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
部門長	・環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する。
	・環境目標達成の為、責任をもって自部門の環境活動を推進する。
	・自部門で発生した問題点を是正処置、予防処置を実施する。
	・自部門に関連する法規制等を遵守する。
	・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。
	・自部門の教育・訓練を実施する。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。
	・決めたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

4. 環境目標とその実績

4-1. 事務所

環境目標(中長期目標)

※上水はR2年度実績



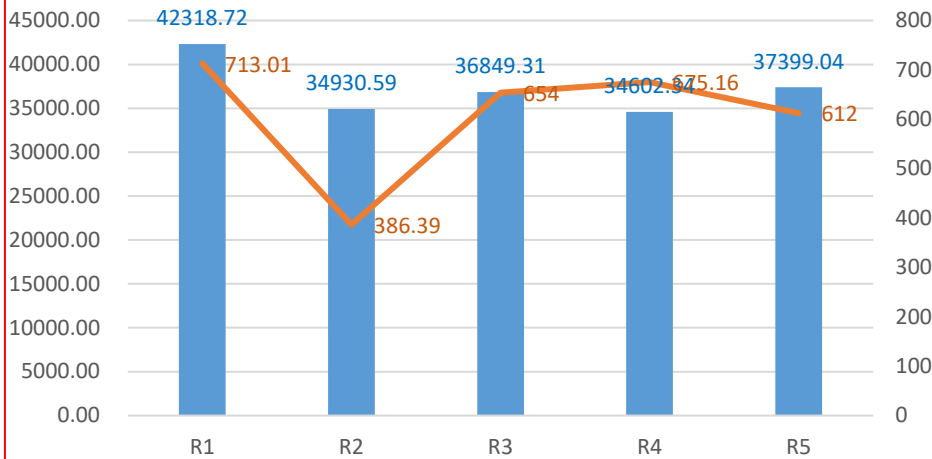
項目	単位	基準値 (R1年度実績)	R2年度 目標(R1▲1%)	R3年度 目標(R1▲2%)	R4年度 目標(R1▲3%)	R5年度 目標(R1▲4%)
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	42318.72	41895.53	41472.35	41049.16	40625.97
電気使用量の削減	kWh	13884.00	13745.16	13606.32	13467.48	13328.64
ガソリン使用量の削減	L	15164.78	15013.13	14861.48	14709.84	14558.19
2 一般廃棄物排出量の把握と削減(熱回収量)	t	0.52	0.51	0.51	0.50	0.50
3 水使用量の削減	m ³	611.20	611.20	605.09	598.98	592.86
4 化学物質使用量の把握と適正管理	kg	-	使用する場合、SDSを取り寄せ適正管理を行う			
5 地域貢献	参加回数	12.0	月1回以上	月1回以上	月1回以上	月1回以上

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.509kg-CO₂/kWh(九州電力平成27年度(実排出係数))使用

環境目標とその実績

項目	単位	目 標	実 績	達 成 率
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	40625.97	37399.04	108.63% 😊
電気使用量の削減	kWh	13328.64	16657.00	80.02% 😞
ガソリン使用量の削減	L	14558.19	12441.43	117.01% 😊
2 一般廃棄物排出量の把握と削減(熱回収量)	t	0.50	0.117	426.67% 😊
3 水使用量の削減	m ³	592.86	492.30	120.43% 😊
4 化学物質使用量の把握と適正管理	kg	SDSを取り寄せ適正管理を行う	SDSを取り寄せ適正管理を行う	-
5 地域貢献	参加回数(回)	12	12	100% 😊

二酸化炭素排出量(kg-CO2)

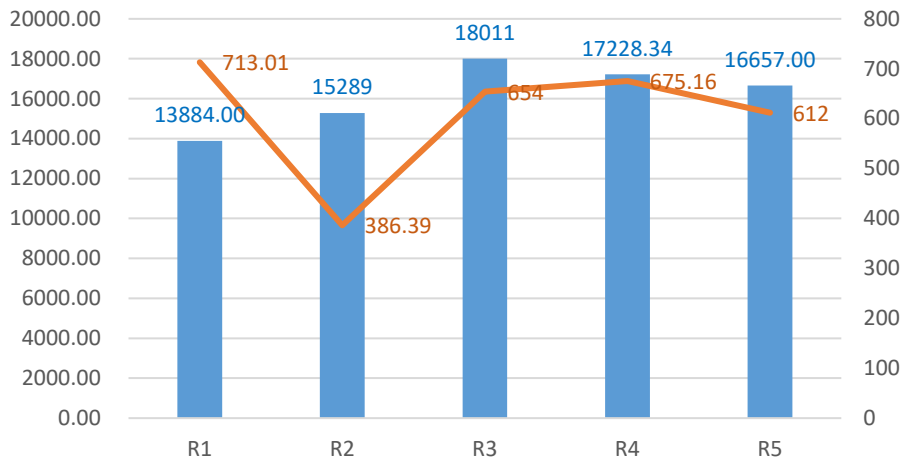


5年間排出量kg-CO2	
186100 ÷ 5 =	
平均	37220

5年間売上(百万円)	
3040.56 ÷ 5 =	
平均	608.112

目標(kg-CO2/百万円)	
基準年	61.21
R6年度	60.59
※基準年をR1～5年の平均とする	

電気使用量(kWh)

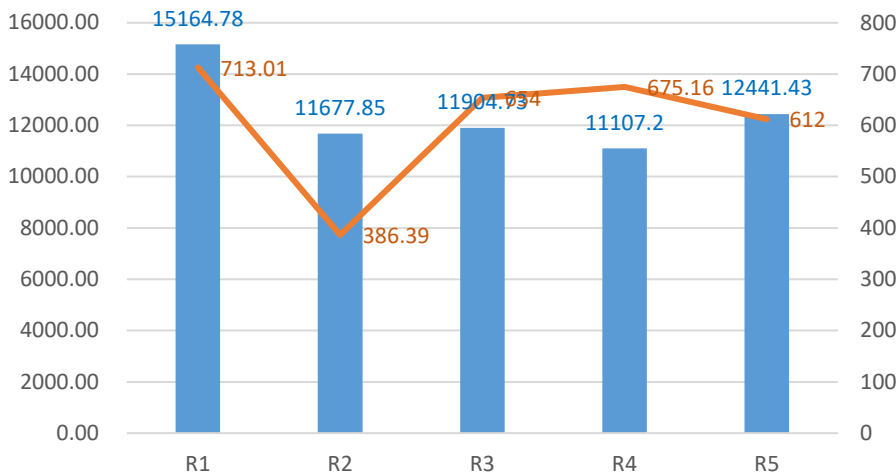


5年間使用量(kWh)	
81069.34 ÷ 5 =	
平均	16213.87

5年間売上(百万円)	
3040.56 ÷ 5 =	
平均	608.112

R6年度目標(kWh/百万円)	
基準年	26.66
R6年	26.40
※基準年をR1～5年の平均とする	

ガソリン使用量(ℓ)

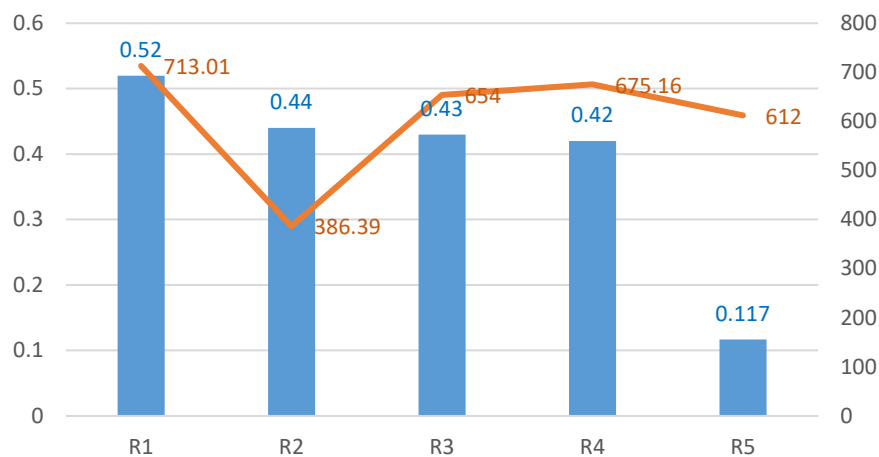


5年間使用量(ℓ)	
62295.99 ÷ 5 =	
平均	12459.2

5年間売上(百万円)	
3040.56 ÷ 5 =	
平均	608.112

R6年度目標(ℓ/百万円)	
基準年	20.49
R6年度	20.28
※基準年をR1～5年の平均とする	

一般廃棄物排出量(t)

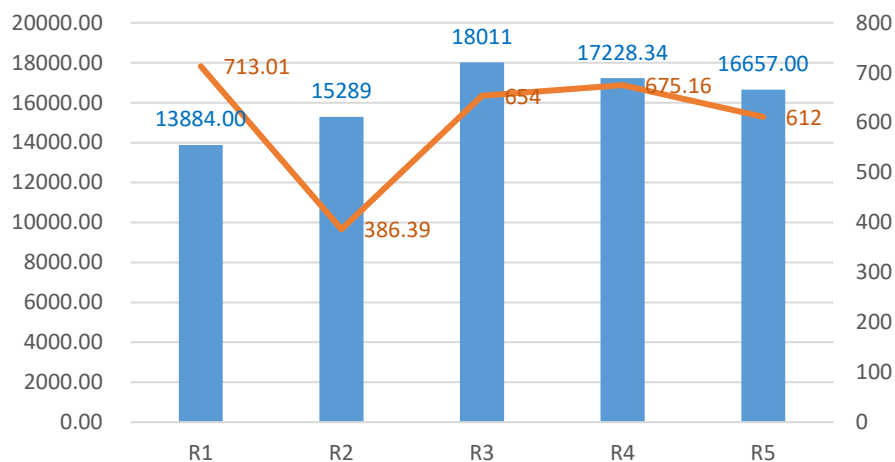


5年間排出量(t)	
1.927 ÷ 5＝	
平均	0.3854

5年間売上(百万円)	
3040.56 ÷ 5＝	
平均	608.112

目標(t/百万円)	
基準年	0.00063
R6年度	0.00063
※基準年をR1～5年の平均とする	

水使用量(m3)



5年間使用量(m3)	
2707.4 ÷ 5＝	
平均	541.48

5年間売上(百万円)	
3040.56 ÷ 5＝	
平均	608.112

R6年度目標(m3/百万円)	
基準年	0.89
R6年	0.88
※基準年をR1～5年の平均とする	

4-2. 現場 環境目標(中長期目標)



項目		単位	基準値 (R1年度実績)	R2年度 目標(R1▲1%)	R3年度 目標(R1▲2%)	R4年度 目標(R1▲3%)	R5年度 目標(R1▲4%)
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	5451.39	実績数値を把握			
	電気使用量の削減	kWh	-	実績数値を把握			
	ガソリン使用量の削減(事務所と一緒に計上)	L	-	-			
	軽油使用量の削減	L	2092.01	実績数値を把握			
2	産業廃棄物排出量の把握と抑制	t	179.65	実績数値を把握			
	建設廃棄物のリサイクルの向上	%	100	100	100	100	100
3	水使用量の削減	m ³	-	把握に努める	把握に努める	把握に努める	把握に努める
4	化学物質使用量の把握と適正管理	kg	-	SDSを取り寄せ適正管理を行う			
5	再生材の利用促進	品数	48.0	2品目以上	3品目以上	4品目以上	5品目以上
6	省エネ・省エネ型設計・施工の提案	件数	3.0	1回以上	2回以上	3回以上	4回以上
7	地域貢献	参加回数	8.0	4回/年	5回/年	6回/年	7回/年

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.509kg-CO₂/kWh(九州電力平成27年度(実排出係数))使用 ※基準値の水使用量は使用していないため記載していない。

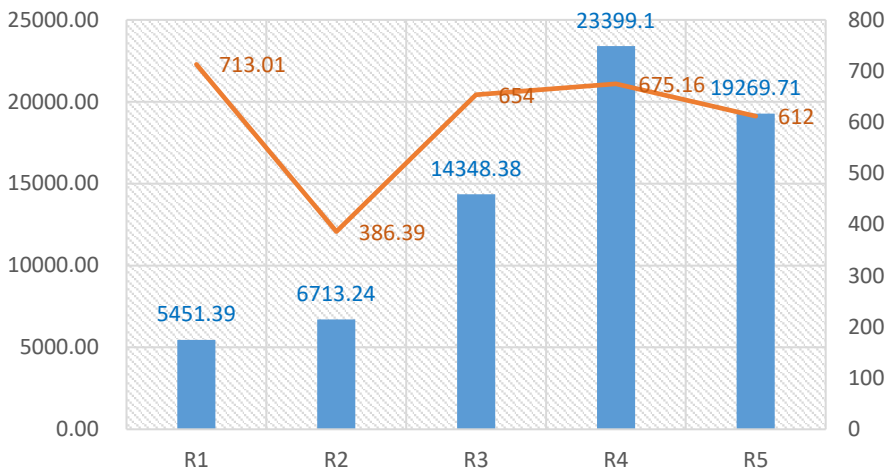
環境目標とその実績

項目		単位	目 標	実 績	達 成 率
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	実績数値を把握	19269.71	-
	電気使用量の削減	kWh	実績数値を把握	-	-
	ガソリン使用量の削減(事務所と一緒に計上)	L	-	-	-
	軽油使用量の削減	L	実績数値を把握	7468.88	-
2	産業廃棄物排出量の把握と削減(最終処分量)	t	実績数値を把握	184.00	-
	建設廃棄物のリサイクルの向上	%	100	100	100% 😊
3	水使用量の削減	m ³	把握に努める	-	-
4	化学物質使用量の把握と適正管理	kg	SDSを取り寄せ適正管理を行う	SDSを取り寄せ適正管理を行った	-
5	再生材の利用促進	品数(品以上)	5	40	800% 😊
6	省エネ・省エネ型設計・施工の提案	件数	4	10	250% 😊
7	地域貢献	参加回数(回)	7	12	171% 😊

※建設現場の二酸化炭素排出量は、受注内容の影響を大きく受けるため、当初は実績数値を把握し、売り上げ等の原単位評価を検討します。

※水使用量で作業用水は下水処理水を使用又は、事務所よりタンク等で運搬し使用しているため把握できていない。

二酸化炭素排出量(現場)

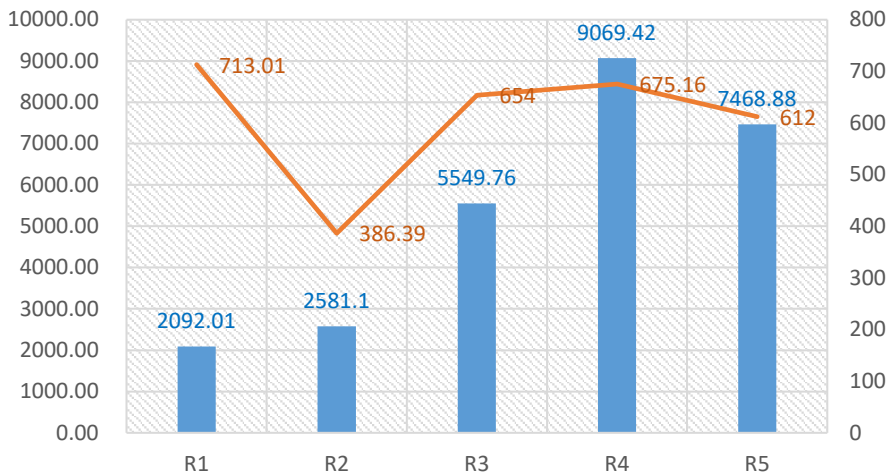


5年間排出量kg-CO2	
69181.82 ÷ 5＝	
平均	13836.36

5年間売上(百万円)	
3040.56 ÷ 5＝	
平均	608.112

目標(kg-CO2/百万円)	
基準年	22.75
R6年度	22.53
※基準年をR1～5年の平均とする	

軽油使用量(現場)

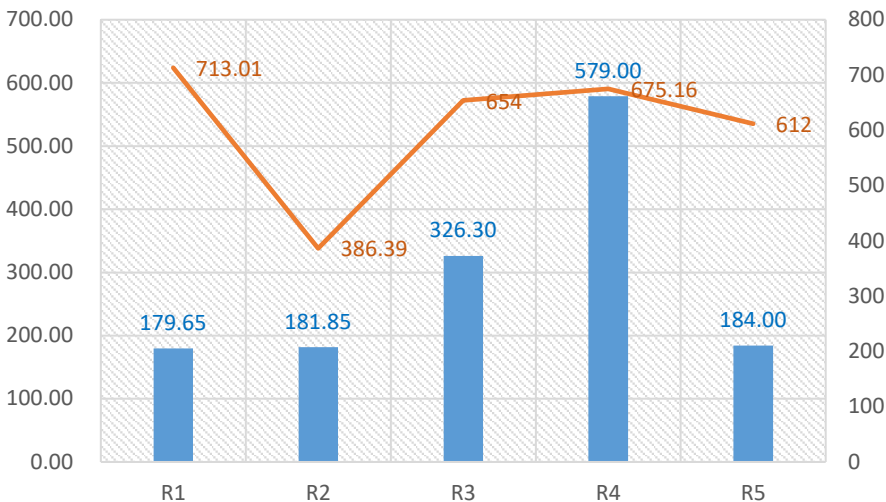


5年間使用量(l)	
26761.17 ÷ 5＝	
平均	5352.234

5年間売上(百万円)	
3040.56 ÷ 5＝	
平均	608.112

R6年度目標(l/百万円)	
基準年	8.80
R6年	8.71
※基準年をR1～5年の平均とする	

産業廃棄物排出量(現場)



5年間使用量 (t)	
1450.8 ÷ 5＝	
平均	290.16

5年間売上(百万円)	
3040.56 ÷ 5＝	
平均	608.112

R6年度目標(t/百万円)	
基準年	0.48
R6年度	0.47
※基準年をR1～5年の平均とする	

5. 環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		サイト 区分	達成手段
1	電気使用量の削減	事務所	1.不要時・不要場所の消灯 2.エアコンの温度管理(夏季28度±1度)(冬季20度)、サーキュレーター併用 3.OA機器の自動省エネ設定及びスイッチオフ(帰宅時退社最終の者) 4.夏場窓際に緑のカーテン
		現場	1.現場での電気使用量の把握 2.不要時の消灯
2	ガソリン使用量の削減	事務所	1.不要積載物の有無・タイヤ空気圧の確認 2.アイドリングストップ 3.エコドライブの推奨
		現場	1.アイドリングストップ 2.省エネ機械の使用
3	軽油使用量の削減	現場	1.過積載の禁止・タイヤ空気圧の確認 2.アイドリングストップ 3.エコドライブの推奨 4.建設機械のエコ運転 5.最適な作業方法・機材の選定

2. 廃棄物排出量

取組目標		サイト 区分	達成手段
1	一般廃棄物排出量の把握と削減	事務所	1.使用済みコピー用紙の再利用 2.プリントアウトする前にプレビュー画面で確認し、ミスプリントを減らす 3.シュレッダーの使用は機密書類に限る 4.封筒の綺麗なものは再利用する 5.段ボールの再利用または古紙回収 6.プリンター用トナー、カートリッジの回収 7.ごみの分別の徹底(紙類はリサイクル回収へ) 8.ペットボトルなどのリサイクル
2	産業廃棄物の把握と抑制	現場	1.建設廃棄物の分別 2.計画的な資材の購入による廃棄物の抑制 3.適正処分
3	建設廃棄物のリサイクル率の向上	現場	1.再生できる処分場への搬入 2.余剰部材の有効活用

3. 水使用量の削減

取組目標		サイト 区分	達成手段
1	水使用量の削減	事務所	1.洗車の水使用量を減らす 2.流しながらの洗いものをしない 3.節水ラベルの貼り付け 4.節水コマの取り付け 5.ストッパー付き散水ホース
	水使用量の削減	現場	1.重機の洗車には中水を使用する (洗車前に泥を落とす) 2.流しながらの洗いものをしない

4. 化学物質使用の適正管理

取組目標		サイト 区分	達成手段
1	使用量の把握と適正管理	現場	1.今年度は把握に努める(使用する際はSDSを取り寄せる) 2.その後は適正管理に努める

5. 再生材の利用促進

取組目標		サイト 区分	達成手段
1	再生材の利用促進	事務所	1.再生材使用の事務用品の購入
		現場	1.建設資材の再生品の購入

6. 自ら施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目

取組目標		サイト 区分	達成手段
1	工法の提案	事務所	1.資材販売先への環境負荷の少ない建築資材の提案
		現場	1.仕様書及び現場を精査した上より現場環境に適した機械・工法を発注者に提案する 2.環境負荷の少ない建築資材(機械)の選定

7. 地域貢献

取組目標		サイト 区分	達成手段
1	地域貢献	事務所	1.敷地内にブランターの設置(地域との結びつき) 2.事務所周辺の清掃
		現場	1.現場周辺の清掃 2.現場事務所、現場のイメージアップ

6. 環境活動計画の内容・取り組みの結果の評価と次年度の取り組み

6-1. 事務所

二酸化炭素排出量の削減

取組	達成状況	評価	次年度の取組
・電気使用量の削減 ・ガソリン使用量の削減	目標: 40625.97 実績: 37399.04 (kg-CO ₂) 達成率: 108.63%	全体の排出量削減ができていると思う。	1人1人の削減への意識付け

電気使用量

取組目標	達成状況	評価	次年度の取組
・不要時・不要場所の消灯 ・エアコンの温度管理 (夏季: 28°C±1°C・冬季: 20°C) ・OA機器の自動省エネ設定及び スイッチオフ(退社時)	目標: 13328.64 実績: 16657.00 (kWh) 達成率: 80.02%	新型コロナ5類移行に伴い、換気を最小限に抑えたが、今夏の猛暑と厳しい残暑でエアコンの使用量が増加したため削減ができなかった。	クールビズ・ウォームビズの奨励。 無理のない範囲で適正な温度管理

水使用量

取組目標	達成状況	評価	次年度の取組
1. 洗車の水使用量を減らす 2. 流しながらの洗いものをしない 3. 節水ラベルの貼り付け	目標: 592.86 実績: 492.30 (m ³) 達成率: 120.43%	対策を行って以降、目標を達成できている。	各個人の節水意識の向上

ガソリン使用量

取組目標	達成状況	評価	次年度の取組
1. 不要積載物の有無・タイヤ空気圧の確認 2. アイドリングストップ 3. エコドライブの推奨	目標: 14709.84 実績: 11107.20 (L) 達成率: 132.44%	目標値の変更により適切な実績値になっていると思う。	取り組み目標の確実な実施

一般廃棄物排出量の削減

取組目標	達成状況	評価	次年度の取組
1. 使用済みコピー用紙の再利用 2. プリントアウトする前にプレビュー画面で確認し、ミスプリントを減らす 3. シュレッダーの使用は機密書類に限る 4. 封筒の綺麗なものは再利用する 5. 段ボールの再利用または古紙回収 6. プリンター用トナー、カートリッジの回収 7. ごみの分別の徹底 8. ペットボトルなどのリサイクル	目標: 0.50 実績: 0.117 (t) 達成率: 426.67%	裏紙の利用・リサイクルなどはよく取り組まれていると思われる。	ミスプリントを少なくする等無駄を減らしていきたい。 不要紙の古紙活用でリサイクル量を増やしていきたい。 リサイクル・分別は継続して行う。

地域貢献

毎月第1土曜日(雨天時は翌週)事務所周辺の道路清掃を継続中。





6-2. 現場

二酸化炭素排出量の削減

取組	達成状況	評価	次年度の取組
・電気使用量の削減 ・ガソリン・軽油使用量の削減	目標:把握に努める 実績:19269.71 (kg-CO ₂) 達成率:-%	実績数値の記録である。	把握できた実績を踏まえ、適切な目標の設定を行う。電気・燃料・水の使用量は現場により流動的に変化するものであるため、実績数値を記録するに留める。 建設施工におけるCO ₂ 排出削減は各現場における省燃費運転の一層の推進、手戻り工事の防止などに努める。

電気使用量

取組目標	達成状況	評価	次年度の取組
1.現場での電気使用量の把握 2.不要時の消灯	目標:把握に努める 実績:0.00 (kWh) 達成率:-%	現場事務所を設置しなかった。	実績の把握に努める。電気・燃料・水の使用量は現場により流動的に変化するものであるため、実績数値を記録するに留める。

水使用量

取組目標	達成状況	評価	次年度の取組
1.重機の洗車には中水を使用する (洗車前に泥を落とす) 2.流しながらの洗いをしない	目標:把握に努める 実績:0.00 (L) 達成率:-%	上水の使用量は0である。	現場での作業用水・洗車等に使用する水は処理水の活用を行いたい。

軽油使用量

取組目標	達成状況	評価	次年度の取組
1..アイドリングストップ 2.省エネ機械の使用 3.過積載の禁止・タイヤ空気圧の確認 4.アイドリングストップ 5.エコドライブの推奨 6.建設機械のエコ運転 7.最適な作業方法・器材の選定	目標:把握に努める 実績:7468.88 (L) 達成率:-%	実績数値の記録である。	把握できた実績を踏まえ、適切な目標の設定を行う。電気・燃料・水の使用量は現場により流動的に変化するものであるため、実績数値を記録するに留める。

※ガソリン使用量は、事務所と合算されている為、把握できていない。

産業廃棄物排出量の削減 (最終処分)

取組目標	達成状況	評価	次年度の取組
1.建設廃棄物の分別 2.計画的な資材の購入による廃棄物の抑制 3.適正処分 4.再生できる処分場への搬入 5.余剰部材の有効活用	目標:把握に努める 実績:184.00 (t) 達成率:100%	産業廃棄物の適正処理、リサイクルが行われている。	廃棄物の分別及びマニフェスト管理

地域貢献

毎月第1土曜日(雨天時は翌週)に現場事務所周辺の道路清掃を継続中。
現場周辺に神社や公園等がある場合にはその場所の清掃を実施中。

再生材の利用促進

建設現場での再生合材等の再生品を使用(発注者からの新材指定以外)

現場でのグリーン購入の取り組みはないが、型枠等必要な時にはグリーン購入法適合商品の資材があるか検討し、優先して購入したい。

化学物質に適正管理

化学物質を含む資材を使用する場合に事前にSDSを取り寄せ適正管理を継続して行いたい。

7. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

7-1. 電気使用量の削減

1. 不使用照明の消灯
2. 節電ステッカーを各照明スイッチに貼り付け
3. 節電ステッカーを各OA機器に貼り付け
4. 空調の適温化を節電ステッカーで周知徹底
5. 空調使用時は、効率化のため窓閉めを徹底



不使用照明の消灯



照明節電ステッカーの貼り付け



OA機器節電ステッカーの貼り付け



空調の適温化(夏季28度±1/冬季20度)



空調の効率化の徹底



空調の効率化の為サーキュレーター使用

7-2. ガソリン・軽油使用量の削減

1. アイドリングストップのステッカーを各社用車に貼り付け
2. 事務所にエコドライブのポスターを貼り付け
3. 車両の自主点検を義務化(使用前点検、日報記入)
4. 近場への外出は自転車の利用を推奨
5. 営業車の買い替えにはハイブリットカーの検討



アイドリングストップのステッカーの貼り付け



エコドライブのポスターの貼り付け



近距離外出時の自転車利用の推奨

7-3. 廃棄物の削減

1. 備品購入時には、簡易包装・無包装のものを優先購入
2. コピー用紙の両面使用
3. 資源の再利用(ゴミの分別)の徹底
4. 建設副産物の適正処分



コピー用紙の両面使用



ゴミの分別



リサイクル(紙類)用ゴミ箱



コンクリートガラの処理



アスファルトガラの処理

7-4. 水道使用量の削減

1. 節水のステッカーの貼り付けによる周知徹底
2. 洗車ホースのノズルにストッパー付きの使用



水道の節水ステッカーの貼り付け



ホースのノズルにストッパー付きを使用



節水コマに交換

7-5. 地域環境美化

1. 事務所周辺の清掃活動
2. 事務所玄関前の緑化・グリーンカーテン設置
3. 現場周辺の清掃活動



事務所周辺の清掃



事務所玄関前の緑化(プランター)



事務所玄関前にグリーンカーテン設置



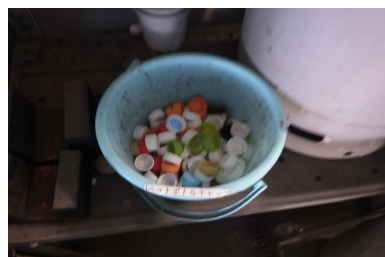
現場事務所周辺の清掃

7-6. 社会貢献

1. 使用済み切手の回収
2. ペットボトルキャップの回収



使用済み切手の回収



ペットボトルキャップの回収

7-8. その他環境関連

私達(株)研進産業は、主な事業として各種管路施設維持管理業務を行っております。

私達の普段気にも留めない重要なインフラ設備それが、下水道管路です。

この下水道管は、雨水や汚水を休むことなく下水処理場などへ運んでくれています。

これらの下水道管が本来の働きができずに、堆積物が溜まったり、老朽化により破損したりするとどうなるでしょう？

まず1番には上水道の使用ができなくなります。(水が流せなくなる)

また、汚水や雨水が地上に溢れたりすれば、衛生上の問題や環境汚染の問題が引き起こったりします。

管路が破損すれば地下水の浸入に留まらず、土砂の流入、果ては道路の陥没という危険性があります。

このような環境問題、事故の危険性を事前に防ぐことが、管路施設維持管理業務です。

この中でも、老朽化に伴う管路の破損を、少ない資材で安く寿命を延長することができる工法が**管路更生工法**です。

SW工法



FFT-S工法



8. 環境関係法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、提訴等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物の処理	適
	保管基準の遵守	適
	事業場の外での産廃保管の届け出	－
	産業廃棄物の委託	適
	委託基準の遵守	適
	事業者の処理	適
	収集運搬車の表示、書面の備え付け等	適
	管理票の交付	適
	管理表の写しの保管期間	適
	管理表の知事への定期報告	適
	許可申請	適
	許可更新	適
	事業範囲の変更	適
	許可申請内容の変更	適
	名義貸しの禁止	適
	再委託基準	適
	収集運搬基準	適
	マニフェスト管理	適
	帳簿の備え付け	適
建設リサイクル法	対象建設工事の届け出	適
	再資源化の実態	適
	実施の報告	適
オフロード法	特定特殊自動車の使用の制限	適
騒音規制法	特定建設作業の届け出	－
	騒音の規制基準の遵守	適
振動規制法	特定建設作業の届け出	－
	振動の規制基準の遵守	適
大気汚染防止法	作業の届け出(特定粉塵作業)	－
	濃度の測定	－
河川法	河川工事の許可	－
下水道法	排水基準	適
自動車リサイクル法	使用済み自動車の引き渡し義務	－
家電リサイクル法	製品廃棄の際の適正な引き渡し、処理料金の支払い	－
フロン排出抑制法	簡易定期点検	適
	引き渡し義務費用負担	－
建設業法施工規則	建設業許可	適

当事業所及び建設現場に適用される環境関連法規の遵守事項を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関及び利害関係者からの指摘も訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価及び見直しの実施日……2024年4月15日
評価者……高木 英範(社長)

評 価

事務所においては、電気使用量以外は目標を達成できました。
不要電灯の消灯など、2017年4月にエコアクションの認定を受けて
7年が経ち社員全員に環境意識の高まりを感じます。
毎年の猛暑でエアコンの使用を減らすことなど到底考えられませ
んが、少しずつでも環境にいいことは何か？と考え、今後も活動
を続けて行きたいと思えます。

見 直 し (変更の必要性和指示)

長期目標の設定を行う時期であるので、現場の目標を過去の実績を踏ま
え、原単位での目標設定を行うこと。
現場の電力・軽油の使用量を目標達成の評価から外すこと。